

開 心  
静 聴  
充 満  
献 身  
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

冬 季 号

# 日本アシュラム

United Christian Ashrams of Japan

Winter 1978

## The 3rd International Christian Ashram. October 4 (Wed) ~ 6 (Fri) 1978, Tozanso, Gotenba, Japan.

### 第三回国際

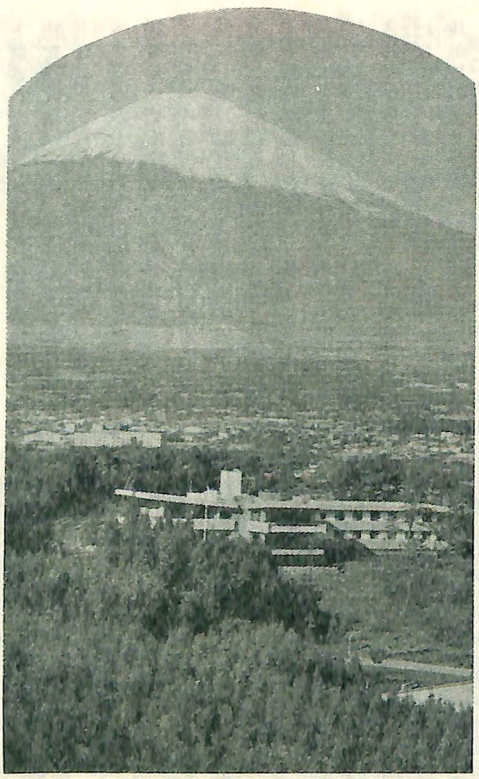
### クリスチャン・アシュラム近し

今秋十月・日本の東山荘で開催

「言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った」とヨハネは言った。然しわが国においてはどうか。アシュラムは聖言への静聴と祈りの徹底を期して続けられているが、この千才一週とも言うべき恵みの時、「第三回国際アシュラム」が愈々今秋十月にわが日本で開かれることになった。

第一回をエルサレムで開かれた故ジョンズ博士の霊と共に全世界の各国代表が一堂に会し、「今日における神の言」を主題として深く黙想し学び合い、聖霊の啓導と充満を体験したい。

全国八地区の委員会ではこのために毎月の祈祷会と献金運動とが展開されつつある。理事は勿論、全国地区委員の兄弟は今から物心両面の準備を整え、各地区の同志を誘い合せて、御殿場の東山荘へ、十月四日の朝には大挙して参集され世界の霊的覚醒のために祈り、「その栄光を見た」という恵みに浴したいものである。



国際アシュラム会場・東山荘

▲主題▼「今日における神の言葉」  
▲日時▼十月四日(水)ー六日(金)  
▲会場▼静岡県御殿場市東山  
国際青少年センター東山荘

▲助言者▼  
ジエームス・K・マシューズ牧師  
米国メソジスト教会のワシントン地区の監督で、若い日にジョンズ博士に導かれ、インド伝道に協力、夫人はジョンズ博士の一人娘、博士から米国アシュラムの指導者に指名された人物。  
ウイリアム・E・パーゲ牧師  
米国ミネアポリスのルーテル教会牧師で世界アシュラムの第一回から引続き今回も国際大会の委員長をする人物。

ステン・ニールソン牧師  
スウェーデンその他北欧各国のアシュラムの指導者。かつてジョンズ博士と共に来日、全国を巡回された人物。  
デ・ピ・タイタス牧師  
アシュラムの発祥地印度の霊的指導者わが国には初めての来援。  
ゴードン・ハンター牧師  
カナダ合同教会牧師、北米カナダのアシュラムの四大指導者の一人、数年前に来日、全国八地区で親交を深めた人。  
パウル・ワグナー牧師  
北米アシュラム連盟の総務理事として昨年就任し今回の国際アシュラムの準備に大石総務と連絡をとっている人。  
わが日本連盟からは、海老沢宜道、中路嶋雄、大石嗣郎の三理事もプログラムを担当の予定。  
▲参加費▼一人一万五千(宿泊費)  
▲献金▼諸費用のため、参加費と共に応分の献金をお送り願いたい。

▼連盟は創立者(牧師)によって各地に生れたアシュラムの全国的なネットワークであり、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。  
山根可式著  
「アシュラムの恵」(百円)  
発行人 大石嗣郎  
定価 一部 50円 千 50円

## 黙想

## 徹夜の祈りをされたイエス

海老沢 宣 道

「宗教の本質は祈祷である」と仏の哲学者サバチエが言った。まことに祈りをぬきにしては個人の信仰も、宗教の活動もあり得ないのである。しかし祈りにも様々な内容や形がある。「困った時の神頼み」式のもは、困らぬ時は祈らないことになる。また我欲の祈りもある。自分本位に乞食のように願ひ求める祈りである。これは信仰に値しない。他人を無視することは神の御心になわなないからである。

主イエスは世界最高の祈りの人であった。祈りのうちに生れ育ち、祈りをもって働き、祈りつつ十字架につき復活し昇天され、今も私共のために執成しの祈りをして下さっている。しかし主は「祈りとは何か」について多くを語られず、祈りの態度について山上の垂訓やその他の場合に教えられた過ぎない。では祈りの内容は何かにあるべきか。イエスにあっては生活そのものであった。父なる神との不絶の交わりあってこそ、主の言動の一切が出てきたのである。従ってイエスの言行を黙想する時、その背後にある祈りにふれることができるのである。

特別な場合に主は寂しい所に退いて早朝や夜半にひとりて祈られた。それは親密な父と子の会話(相談)であった。こ

ちらからの一方的な願かけではない。一人で祈るのであるから他人に聞かせる言葉は不要である。パリサイ人のような祈りは、美辞麗句を考えることになり、神を相手に話すことにならない。心を注ぎ出して熱心に祈ることは大切だが、くどくどと繰返して長い文章を連ねると、意味が不明朗になる。主がまず私共に「密室の祈り」を勧められたのは、そのためである。

そこで独り神との会話ができるようになった時、二三の信友と心を合せ、更に多くの同志と祈りを結集することができるようになる。

ルカは六章一二節以下に「イエスは祈るために山へ行き、夜を徹して神に祈られた」と述べている。一方的な願ひ事であったら、それほど長時間は要しない。神との御相談をされたからにちがいない。つまりイエスは祈りの中で父の御心を静聴されていたのである。弟子たちが増加したので、その中から特別奉仕者を選ぶ必要があった。金持ちもいたろう。

知恵ある者、人生経験、社会的地位ある者もあつたらう。しかし主は神と御相談の結果、あの十二名を使徒として選任された。誰が見ても欠点だらけで、人間のにも立派な者ではない。「無学の凡人」

と評された人々である。何も身につけた物を持たない方が、純真に主の訓練を受けることができるからであらう。果してユダ以外の十一名は世界各地に出かけて福音のために殉教したのである。

主イエスの祈りは神との会話であると共に、第二は靈交による靈力の充満であったことが判る。山を下りると大勢の弟子や群衆が医しを求めて集ってきた上、我先にと主の御体にさわろうと努め、そして主の内から出る力によって皆が医やされたからである。主イエスは神との交わりにおいて全能の力を受けられた。私共がこのような御力を受ける祈りのできないのはなぜか。開心(悔改め)が不徹底だからではないか。全身全霊を明け渡さず一部を自己支配の下に残しているからではないか。

最近私はミシエル・クオスト神父の著「神に聴くすべを知っているなら」を毎夜少しずつ読んで、静聴の心を養われているが、「主よ、あなたの前にいさえずればいいのです」の章には特に心打られた。もっと真剣な祈りに徹し、神との靈交を深められたいと切に願う。

第三に主は祈りに徹して神の全知を示され、神の言を語ることができた。私たちが貧しい者、今飢えている者、今泣いている者、主のためにのしられる者が幸いだと言える説教者になりたいものである。人々の重荷のために祈る者こそ十字架を負う者ではないか。

祈りは信仰の大切な行為である。

## クリスチャン。

## アシュラムの守り方(十)

海老沢 宣 道

## ▼一日アシュラム

インドのアシュラムは一週間とか一ヶ月間という長期にわたって、山間の道場に寝食を共にして、グル(導師)の訓練を受けるということです。

しかし「忙がしや」の日本人には困難のようで、ジョーンズ博士が初めて開いた第一回日本アシュラムは三泊四日間でした。それでも多くの人が生活改変を体験し、キリストと教会への忠実な弟子に立ち帰りました。

アシュラムはその道場が開かれている時、またそれに参加する時だけのものではなく、無意味です。ここで「新しく造り変えられた人」は、日常生活においても、各自の教会においても、常にイエスを主としたアシュラム生活を生きぬくはずです。

そこで地区主催の年一回のアシュラムだけでなく、近隣の教会の協力によって、年に二、三回のアシュラムを共催することが望ましく、更に多く各教会で単独に会員有志を集めて、一日アシュラムを守られるようにお勧めします。

時間は一日でも内容や靈潮は少しも長期のアシュラムから割引してはなりません。祝祭日の一日を聖別し、或は聖日なら礼拝を含めて、午前九時半から開心の時、十時半から礼拝メッセージ、正午からファミリーの時、一時から祈りの細

## アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

# 報告 東北アシユラム(第七回)

鴨子町の鉄道保養所で  
十月二四日から三日間

村上東委員長以下各県の委員方が祈りと周到な準備により、全てがよく整えられたことと、東京から助言者として来援された連盟理事の山根可弼師と関東地区委員の有馬歳弘師の適切な指導によってすばらしい集いが持たれた。

開会礼拝は一時から実行委員長高橋トキ師の司会で小久保達之佑牧師が説教オリエンテーション(村上)の後、開心の時と明渡し(山根師)によりなされニードの明確化を迫られた。夕食後、静聴実習(有馬)で御言の分ち合いを導かれ、夜の祈りが菅隆志師の奨励によって守られた。続いて沈黙の時に祈りの鎖が翌朝六時まで続けられた。

第二日は静聴をマタイ・マルコ・ルカヨハネの四グループに分れて守る。朝食後、静聴実習(山根師)小団の祈りで恵みの空気が高まる。中食後、聖書講義(中島豊師)「イエスは主である」を聖書学的に話された。聖霊の啓導と充滿につき山根師の証しを伺い、教会への奉仕と伝道は吉池みつ師の司会で各教会の働きの分ち合いがあった。夜の祈り(滝節三師)を守って再び沈黙の時に入る。

第三日は朝の静聴に初まり、祈りの必要が一同に明確となり、山根師に執成しを願う空気が高まった。朝食前の聖さん式が有馬師により導かれ感謝であった。聖書講義(中島師)では教会の主なるイ

エスについて教えられ、いよ／＼最後の充滿の時(山根師)には感謝と決意の証しを多くの方々から涙のうちに語られ、田岡伴治師の祈りにより感謝のうちに閉会した。今回は特に静聴の実習に重点がおかれ祈りの中に全てを明渡す牧師、信徒が多くあり感激の至りであった。

## 感謝

横手市 須々木 光 三

聖名をあがめて……

此度山根先生の御懇篤なる御教示を賜り、全く感謝の言に絶しました。「主イエスの目を持って、耳を持って」「主イエスを値切るな」最後の朝にはヘブル書十三の五から、主は「私は決してあなたを離れず、あなたを捨てない」と言われたこと、全て骨身に徹するお言でした。この度のアシユラムは小生の長い信仰生活に一段階を画きました。当地よりの同勢五人は帰路の車内で数日間の充ち満てる感激と喜びを声高に語りました。どうか来年もお元気で御指導賜り度うございます。尚当地だけで小アシユラムを持ちたいとの議が出ています。有難うございました。アシユラム運動が益々積極的に進められるよう祈ります。先は御礼まで。

## 九州アシユラム報告

委員長 山本 繁 夫

第二回九州アシユラムは十一月七日

(月)から九日(水)まで(二泊三日)福岡聖公会センターで行われた。

今年の助言者には日本クリスチャン・アシユラムの理事長長海老沢宣道牧師と早くからお願ひしていたが、実現できて嬉しかった。

九州アシユラムの歴史は古く、福岡で行われる時は必ずと言ってよい程、西南山の家で行って来たが、今年は始めて場所を変えてみた。集う者の便利を考へてのことであったが、これが裏目に出て、集う者はビックリする程少なかった。

(原因は場所ではなく日取りであったか)然し主は隣み給うて、今迄にない素晴らしい恵み豊かなアシユラムにして下さった。その出席者は過半数が牧師であり、その他の参加者も十三教会からの長老、執事、役員などであって、期せずして教会幹部のためのアシユラムとなった。

野口牧師の説教で初まり、内容は勿体ない程密度の濃厚なもので、行き届いた助言者の奨励、聖書の学び、恵みの分ち合い、林田牧師の霊味豊かなヨブ記のお話等があつて、会した者たちの中から「今年程素晴らしいアシユラムはなかった。」「アシユラムがよく理解できた。」「アシユラムに五原則があることを知り、その意味がよく分った」等とアシユラムを評価する声が高かった。

なお一切の費用も願ったように充たされ、来年を大いに期待しながら別れた。来年は北九州市で行われることになったみなさんの熱いお祈りを感謝しつつ、報告をさせて頂いた。

- (三) 聖霊の啓導と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

胸、二時から静聴、三時から恵みの時、四時から充滿献身の時というプログラムを組むことができます。

助言者はその教会の牧師が当ることがよいと思います。他教会から協力者を迎えるのもよいが、何よりその教会の牧師と信徒が主イエスのより良き弟子となるために共に明渡しと静聴と充滿を体験して頂きたいのです。

## ▼ミニ・アシユラム

アシユラムの五大原則は、各個人の信仰生活の原理でもあります。従って教会で集会としてのアシユラムを守るだけではなお不十分で、個人の日常生活においても朝なり夕なりに、アシユラムの時を聖別して持つように致したいものです。こうしてアシユラムの原理が身につくその精神が浸透した信徒、真の弟子となるとき、アシユラムの目的は達成されたと云えるでしょう。

以前にも述べましたが、初めジョンズ博士はインドで英国人とインド人と三人で「静聴の時」を持つことから、このアシユラム運動は全世界に波及するようになりましたが、博士は天に召される最後の時まで「個人アシユラム」を守られたということでした。

ミニ・アシユラムは特別に事務的な用意を必要としませんから、数名の信友が心を合せるなら、何時何処においても守ることが出来るのです。どうかこのようにしてアシユラム精神が全信徒の魂に浸透することを切に祈ってやみません。

感謝

北九州市 入江 五州夫

ただ主の聖名を讃美いたします。去る十一月七日から九日には海老沢先生の全く理想的と思われた九州アシュラムの御指導を深く感謝しています。あの数々の恵み心にしみました。七七才の身ですがこの信念も主に見ゆる決意を新たにせられ、九州地区委員長山本牧師の門司大里教会にて万全を尽しています。全ての力は主より来る事を信じに信じて、もう一度三位一体の神を崇め奉ります。先生の上に御健康を祈り、全国アシュラムのため益々御奉仕下さるよう主によりてお祈り申し上げます。本当に有難うございまして。感謝。感謝。

第十二回四国アシュラム報告

委員長 宇都宮 充

今年は一日本アシュラムを各地で行う他徳島地区で開く方針であったが、同地区委員の都合悪く、やっと十一月二三日夜の委員会から初め、二四・二五の両日に参加者を迎えて開いた。

助言者は連盟理事長の海老沢宣道牧師を東京から招き、委員会から出席され、翌日午前十時、開会礼拝(河野修牧師)とオリエンテーション、中食後、開心の時(海老沢師)に五原則を学び、続いて祈りの小団(戸田、唐渡両師)で熱心な祈りと証言が展開された。ファミリーの時には今後のためによい意見が交換され

た。夕食後、ピリピ書霊解(宇都宮)と恵みの時(海老沢師)があり、創世記二章の静聴的解説がなされた。夜九時から沈黙の時とし別室では連鎖祈禱が開始され(十二名参加)朝七時まで続く。

第三日(二五日)は七時から静聴の時(久保正信師)をもち、朝食、後再びピリピ書霊解(宇都宮)に続き、恵みの時(海老沢師)ではモーセの十戒を通して罪の明渡しが迫られた。中食後、第二回祈りの小団を守り、充滿の時は海老沢師により聖霊の降臨が一同に祈求された。

今回の参加者は二五名で昨年より少なかったが、選ばれた熱信者で内容の充実したものであった事を感謝した。

ファミリーの申合せ、一、参加者名簿を作り、倍増を計る、二、毎月一回アシュラム祈禱会をもつ、三、通信連絡委員をおくこと、四、委員は全員留任とし信徒を加えること。以上。

今回も委員の一人で詩人の熊姉が次の詩を寄せられた。

国際アシュラムのために 協賛献金二百万円を募る

別記の通り有力な指導者と多数の海外同志を迎えるため通訳その他諸経費として金二百万円を必要とします。何卒よろしく全国の各地区及び篤志家の御献金を総務局あてお送り願います。(振替)東京〇一四五五八番、日本クリスチャンアシュラム連盟あて。

深く深く祈ろう

熊 美枝子

深く深く祈ろう  
主にお会いできるまでに  
深く深く学ぼう  
さやかにみ声が聞えるまでに  
深く深く砕かれよう  
聖霊によりて満されるまでに

主はわたしの喜び  
わたしの生命  
あふれるばかりの  
恵みを讃えて  
「イエスは主なり」と  
共に歌わん

(第十二回四国アシュラムにて)

関西アシュラム(第十二回)

十一月二十二―二十三日(火・祝)

所 淀川善隣館研修室

京阪神の各委員が大阪クリスチャンセンターに集まり、中路委員長(日本アシュラム連盟副理事長)後宮、林両日本アシュラム連盟理事らの指導のもと、祈りと協議を重ねてプログラムを作成、京阪神の諸教会に呼びかけ、また百数十名の教職信徒にも手紙を送って参加を呼びかけて大華来会を期待していた。しかし各種の集会和重なり、二十教会より四十九名の参加者にとどまった。

中路総委員長ほか、辻中実行委員長、中島彰、後宮俊夫、清水潔、平方美代子、古河治、古河静子、金元治、金徳成、韓在秀、畑野基、各教職、林勝義、

渡部清教而兄(信徒)ほか数名の信徒の方々がよく協力し、国際的雰囲気満ちたよき交わりが展開した。

今回の標語は「すべての聖徒のために祈りつづけない」(エペソ人への手紙第六章十八節)を示され、聖霊による一致、世界平和への祈り、主の御国が日本に、韓国、世界に来らんための祈り、各個教会の充実のための祈り、などが次々とさげられ。

この二日間の生活の中で、アシュラム運動のため大きい足跡を残されたスタンレー・ジョーンズ師や榎本保郎師を偲んで祈りをささげる一刻も与えられた。

また中路委員長は充滿の時を司会恵みを分かち合った。また第三回国際アシュラムについて訴えられ、早速一名の参加申込みが与えられた。来年十月四―六日の国際アシュラム、十一月二十一、二十三日の第十三回関西アシュラムでの再会を約束し、ジョーンズ博士のアシュラムサイン「イエスは主なり」を繰返して閉じた。

感謝の献金は八万二千五百円であった

ジョーンズ博士記念事業(16)

- ▼五千元 高橋トキ(東北・鳴子町)
- ▼二千元 鈴木長右衛門(東北・山形市)
- ▼一千元 田中しま(東北・角田市)

小計(三件)八、〇〇〇円

累計金 二、四三八、九〇二円也  
長い間皆様の御協力有難うございました。記念事業はこれで〆切と致します。

◇急報

山本繁夫理事(九州委員長)は脳血栓にて入院された。神癒を切に祈る。

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を

取り入れて創始されたキリスト教の祈り祈禱生活のことである。

東京都目黒区中央町1-21-10  
日本クリスチャン・アシュラム連盟  
碑文谷教会気付

参加者が何度でも読むべきもの  
「アシュラムとは何か」(50円)